

議事録

名 称	第3回山ノ内町子ども・子育て会議
日時、会場	令和7年1月15日(水) 13:30~15:30、山ノ内町役場4階401会議室
出席者	参加者：18名(敬称略) 会長：西崎萌、副会長：佐藤重子、委員：坂本琴美、宮澤昭雄、杉戸香奈、丸山恵美子、武田喜代子、野口みどり、中村まゆみ、渡辺淳子、鈴木幸子、岩本かおる、小林妙子 事務局：竹内教育長、こども未来課(望月、前田、小林)、健康福祉課(小林) 傍聴者：1名
次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 (1) 第三期山ノ内町子ども・子育て支援事業計画(案)について (2) こども基本条例(仮称)について (3) その他 4 閉 会
発言内容	2頁～

(1) 第三期山ノ内町子ども・子育て支援事業計画(案)について

- * 事務局から、前回配布の計画案について、文言の表記の統一や第6章の事業の量の見込みについて単位の一部見直しを行った旨を説明。
- * パブリックコメントの結果、特に意見がなかった旨を報告。
- * 委員から質疑・意見は特になく、採決の結果、全員賛成で計画は決定された。

(2) 山ノ内町こども基本条例(仮称)について

- * 事務局から、前回会議で委員から意見のあった点を反映し、全文の表記を大幅に変更したほか、こどもの役割の規定を削除し、町の役割の条文を第5条に繰り上げた点を説明。
- * その他、条例制定後の広報資料としても活用を考えている説明資料と逐条解説についても説明。
- * 今後のスケジュールとして、本日の会議で条例案を決定いただければ、3月議会での条例提案に向け、庁内の法規審査手続きを進める。

(以降、条例案等について議論) ※…委員からの意見 *…議論の結果

○前文について

※「わたしたち」という言葉の使い分けが全ての町民を指す場合と、大人を指す場合で使い分けられているが、違和感があるほか、主語の対象がわかりづらい。

また、「願う」という表記は大人目線であり、「目指す」のほうがよいのでは？

- * 第1段落と第2段落を結合し、第2段落の主語である「わたしたち」を削除する。

条例の前文に、大人の願いを条例に記述することについて議論の結果、「願い」は思いの最上級であり、「目指す」の表記より適当と思われることから、若干の表記の修正で対応。

※「こどもは弱く守られるだけの存在ではなく」という表現は、マイナスイメージとして捉えられかねないので、もう少し前向きな表現としては？

- * 「こどもは守られる存在であるとともに」の表現に修正。

○第3条 基本理念について

※「多様性に寄り添うこと」の「多様性」とは何を指すのか。抽象的でわかりづらい。

- * 国際条約の一般原則にある「差別の禁止」のなかで、人種や国籍、性別、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されないと規定されているほか、こども一人ひとりに個性があることを含め「多様性」と表記している旨を説明したところ、条文を「多様性を理解し寄り添うこと。」の表記に修正するかも検討されたが、条文は簡潔にとどめ、逐条解説で具体的に表記することとなった。

※「子育てしやすいまちづくりに地域全体で取り組むこと。」の「地域全体」とは、どこを指すのか。

- * 議論のなかで、「顔の見えるコミュニティ」を指すことと、「町ぐるみ」を指すとの両論が

出され、町ぐるみであれば、条文の表記も修正したほうがよいとの意見もあったが、「顔のみえるコミュニティ」の地域住民にも役割は大きなものがあるため、条文はそのままとし、「地域全体」とは、双方を指す旨を逐条解説で表記することとした。

○逐条解説・説明資料について

- * 「こどもの最善の利益」に関する記述をはじめ、若干大人目線の表記が散見されることから、西崎会長の校正案を後日メールするので、修正の検討をしてほしい旨の要望あり。
- * 説明資料の最終頁の「相談窓口」について、困ったことがあったらまず町に相談してもらえるよう窓口の表記は来年度から設置される「こども家庭センター」とし、担当係ごとに主な相談内容を併記したうえで、窓口の一番上に掲載するよう修正してほしいとの要望あり。
- * 説明資料のこどもを中心とした夫々の役割を説明している図解のなかで、「学校や保育園」に役割の記載がないので表記してほしいとの要望あり。

- * 条例案について、前文を本日の議論をもとに修正する文言を確認のうえ、修正案をもって条例案とすることで採決の結果、全員賛成で決定された。